

<災害時の水の確保について>

飲料水はペットボトルでまかなうことを原則とします。

しかし、その他の水、ペットボトルもない、給水車も当面来ない、という極限状態で、前日の風呂水のみある、という場合は、以下で水道水に近いものができます。

あくまでも極限状態なので、これに関する一切は免責されます。

(今の日本では水技術者の努力でこんなことはほぼありませんし、非常時は自衛隊の方々が動いてくれるので(阪神大震災時は助かりました。礼)、基本的には心配はいりません。ここでの記載事項は、浄水場がやられたとか、自衛隊基地から遠いとかで、水の入手が長期間、非常に困難な状態です)

ちなみに以下の URL が参考になります。

http://www.myphist.com/public/_upload/type010_1_1/file/file_13907309490.pdf

<https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/33926/00000000/12kateiyouensokeihyouhakupuzai.pdf>

① 風呂水をコットンや清潔な衣服(シャツがいいかも)でろ過します。

*ドラッグストアで売っている消毒用コットン(香料など塗布なしのもの)がいいです。

② ハイターを混ぜます。

ハイターは塩素濃度 5~6%とされています。これより、衛生状態を保つ塩素濃度は 0.5mg/L(=0.0005%相当)程度なので、水道水は、1/10000 希釈水となります。

お風呂を満杯で一般的に 200L とすると、 $200/10000=20\text{mL}$ です。ハイターのキャップ 1 つは、25mL とされていますので、キャップ 1 杯をお風呂に投入すればよいことになります。

なお、参考資料により、ハイターは塩素槽度と表示されていたり、次亜塩素と表示されていたりしますので、正確さにかなりかけます(これらは類似していますが、内容は全く異なるものです)

ここでは、塩素濃度=残留塩素濃度とみなしております。

あくまでも極限状態なので、何かあっても一切は免責されるものとしてします。

こういう状態が来ないよう、日ごろから、我々のような水技術者が努力しており、自衛隊の方々もいざという時に出動できるようになっています。

以上